

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方(令和5年度第2回)

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
安心安全・まちづくり部会				
1	・令和6年度予算案に関連し、区役所附設会館管理運営事業について、現在の港区民センターはどうか。港近隣センターの運営はどうなっているのか。	・現在の港区民センターは、3月31日で閉館(3月26日～31日は移転作業のため臨時休館)し、4月1日に弁天町駅前にオープンする交流会館の中に移転します。 ・港区役所の附設会館である港近隣センター及び港区民センターは、現在、大阪市コミュニティ協会が指定管理者として運営しています。	同左	協働まちづくり推進課
2	・令和6年度予算案に関連し、港区エリア別活性化プラン等の推進について、予算の中身はどのようなものなのか。	・市岡商業高等学校の跡地活用や万博開催以降の持続可能なまちづくりに向けた検討調査費用となっています。	同左	
3	・令和6年度予算案に関連して、空家等対策推進事業について、広報や郵送以外に空家に対する相談会の開催といったことはしないのか。	・空家対策については、近隣住民の方からの通報などが多数寄せられ、その都度、担当職員が現地の確認や所有者の調査を行い、所有者に危険個所の自主的な改善を求める文書を作成、郵送しているほか、年1回区広報紙に特集記事を掲載し、啓発に努めています。 ・これらの取組により、令和5年度は15件是正できましたが、現状、相談会を開催するといったところまでは至っておりません。 ・ご意見を踏まえ、来年度の港区の空家の状況を見ながら今後の方策を考えてまいります。	同左	
4	・新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動や行動制限も緩和され、街には外国人が増えてきている。万博開催も控え、きちんとした外国人に対する防災対策を構築すべきではないのか。	・港区は外国人の住民も増えていますが、地震や津波がある国の外国人ばかりではなく、いかに災害や避難に関する正しい知識・情報を伝えるかが重要です。 ・多言語に対応している「大阪防災アプリ」の普及や、避難・誘導に関する啓発などに取り組み、多くの外国人が来訪する万博開催にもしっかり備えてまいります。	同左	
5	・弁天町駅周辺まちづくりビジョン(案)について、多くの取組が掲げられているが、何が軸となる取組なのか。 ・また、今後港区での学校の統廃合による跡地活用について、教えてほしい。	・現時点で取組を絞るよりも、ビジョンとしていろいろな実現可能性をなくさず、幅広く意見を聞きながら進めていきたい思いがあります。 様々なご意見をいただくことにより、このエリアに相応しいまちづくりの方向性が見えてくると考えています。 ビジョンとしてまちづくりの方向性を共有し、個々の取組について、行政だけでなく、住民や地域の企業においてもまちづくりに関われるのではないかとといった観点で対話できるツールとしてもうまく活用できればと思っています。 ・学校適正配置・再編にかかる学校跡地の活用については、来年度に活用に向けた調査を行います。 基本的には学校跡地及び既存建物を貸し付けて活用することになると思いますが、防災拠点機能を残しつつ、地域の活動をどのように担保するのかといったところを協議するため、令和9年度を目途に関係する地域の方もメンバーになって検討会議を立ち上げる予定です。	同左	
6	・広報掲示板について、申請してからどれくらいで掲示できるのか。	・掲示にかかる定例の審査会は2週間に1回ですが、急を要する場合は、できるだけ早く対応してまいります。	同左	